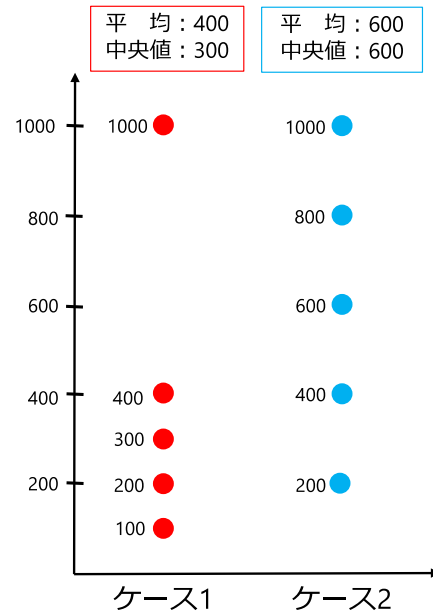


散らばりを考慮した代表値

平均値と中央値：

- データの値の範囲がそれほど散らばらない場合には、代表値として平均が多く使われる。
- しかし、データの値が大きく散らばる場合には、中央値が役に立つ。

このようなデータの場合には、
平均値と中央値の両方を併記
することが多い



箱ひげ図の見方

